

情報公開文書

1. 研究の名称

腸管血流障害/腸管拡張症例に対するCT読影補助モデルの開発研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

【研究代表機関】 京都大学消化管外科

【研究代表者(責任者)】 小濱 和貴 京都大学消化管外科 教授

【共同研究機関】 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

【共同研究機関の研究責任者】 畑 啓昭 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 外科 科長

4. 研究の目的と意義

近年AIを用いた画像分析技術は飛躍的に向上し、社会の様々な領域で応用されています。急性腹症の診断及び治療では、緊急性の判断が重要となります。腸閉塞(イレウス)は、急性腹症の中でも頻繁に発生し、正確な診断が困難であり、誤った診断が命に関わる可能性のある深刻な疾患です。特に絞扼性(血流障害を伴う)腸閉塞や腸管壊死などの外科治療を要する疾患は現場での迅速な診断が求められるものの、診断が難しいとされます。腸閉塞(イレウス)のCT画像診断補助を行うAIに関する報告は少なく、実臨床での診断AIモデル開発への期待が高まっていることから、今回の研究を行うこととなりました。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から2026年12月31日まで。

6. 対象となる試料・情報の取得期間

研究で用いるデータの対象患者さんは、2001年4月1日から2023年6月30日までに、京都大学医学部附属病院および共同研究機関において、急性腹症に対し診察を受けた方です。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

利用目的として、収集したデータをCT読影補助モデルの構築に活用させていただきます。利用方法としては、データの収集にあたっては仮名化した後に行い、患者さんの個人情報をお知らせすることはありません。また個人を特定できる情報を施設外に提供することはありません。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

急性腹症発症時の患者背景(病名・年齢・性別など)・身体所見・検査(血液・画像)所見・手術/入院情報を使用させていただきます。

9. 試料・情報の二次利用および他研究機関への提供の可能性

本研究で収集した試料・情報は、本研究の他にも将来の研究のために用いる可能性はあります。その際にはホームページ上でオプトアウトを行い、研究対象者が拒否できる機会を保障します。

10. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日

11. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

【研究代表機関・研究代表者】 京都大学消化管外科・教授 小瀨 和貴

【共同研究機関・共同研究機関の研究責任者】

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター・外科 科長 畑 啓昭

12. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学消化管外科・教授 小瀨 和貴

13. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

14. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

15. 研究資金・利益相反について

1) 研究資金の種類および提供者

この研究は消化管外科教室費運営金を主な資金源とし、資金提供者はありません。

2) 利益相反

利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。また、共同研究機関においても各機関の規程に従い確認されています。

16. 研究対象者等からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学消化管外科医局 研究担当者：後藤健太郎 肥田侯矢

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54 TEL：075-751-3111 (代)

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口：

電話：075-751-4899 E-mail：ctsodan@kuho.kyoto-u.ac.jp

17. 外国にある者に対して 試料・情報を提供する場合

現時点では、外国にある者への試料・情報の提供は予定していません。